

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第2号（普通期水稻のコブノメイガ）を發表します。

病害虫発生予察 注意報第2号

1 農作物名 普通期水稻

2 病害虫名 コブノメイガ

3 発生状況及び注意報発令の根拠

- (1) 本年のコブノメイガの主な飛来時期は7月3～8日で、飛来量が多かったため、技術情報第6号（平成19年7月13日付け）を發表した。
- (2) 第1世代幼虫の被害は、箱施薬剤の効果等により概ね低く抑えられたが、7月下旬の巡回調査での発生ほ場率は98%（平年77%）と平年に比べ高かった。
- (3) また、早植えほ場を中心に被害が多く、発生程度中以上のほ場率は61%で、7月下旬にさらに被害が進展した。このため、第1世代成虫の発生量が多くなり、第2世代幼虫による8月中旬頃の上位葉及び止葉への被害が予想される。
- (4) 7月5日を起算日とした鹿児島市での第1世代成虫の発蛾最盛日は、7月下旬の高温により発育が抑制され、技術情報第6号での予測日より3日遅い8月6日頃と予測される（別紙、発育経過予測図を参照）。

4 防除の考え方

- (1) 粒剤による防除の場合
7月上旬の飛来に由来するコブノメイガを対象に粒剤で防除を行う場合は、第1世代成虫の発蛾最盛日である8月6日頃を目安に、ほ場に水を溜めてから散布する。
- (2) 粉剤・液剤等による防除の場合
本年は、第1世代幼虫による被害が多いので2回防除を基本とする。
2回防除の時期は、第1世代成虫の発蛾最盛日の3日後と10日後が基本であるが、本年は発生時期の幅が広いので、2回目の防除時期を10～14日後頃とする。
（8月9日頃と16～20日頃を目安とする2回）
なお、2回目の防除を8月20日頃とするとトビイロウンカの同時防除が可能である。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。
- (2) トビイロウンカについては、8月上旬の調査に基づき情報提供を予定している。

(参考資料)

ウンカ類及びコブノメイガの予察灯等誘殺状況

農業開発総合センター内（南さつま市金峰町，2007年）

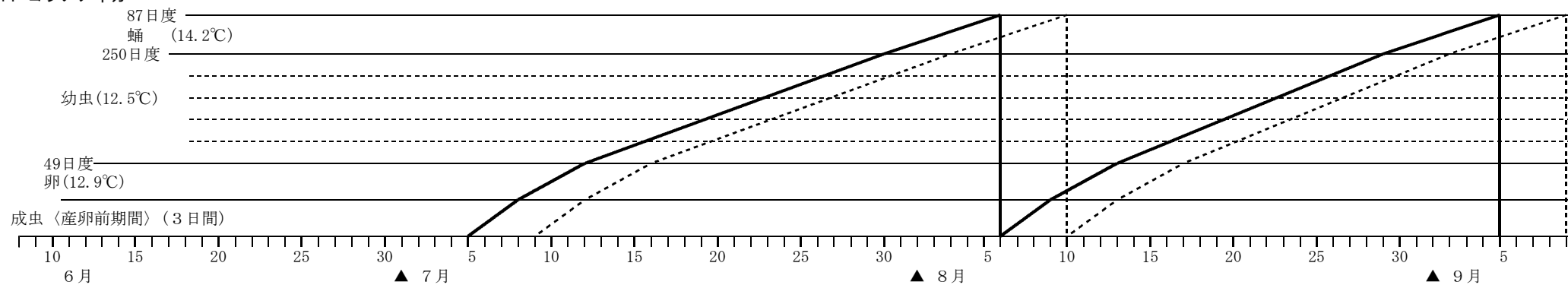
日	セジロウンカ				トビイロウンカ				コブノメイガ	
	60W電灯(水田)		シヨソソトラップ°		60W電灯(水田)		シヨソソトラップ°		ブルーライトトラップ°	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
6/11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
14	40	0	13	4	0	0	0	0	0	1
15	38	6	9	0	0	2	0	1	1	2
16	53	2	22	0	0	0	1	0	0	4
17	26	↓	2	8	0	↓	0	0	0	4
18	3	83	0	0	0	6	0	0	2	0
19	2	2	1	2	0	0	1	1	2	0
20	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0
21	3	0	0	0	0	2	0	0	↓	0
22	60	0	↓	1	0	1	↓	1	↓	0
23	55	12	35	6	0	1	1	3	0	0
24	4	↓	96	12	0	↓	0	1	0	3
25	56	28	117	7	1	6	0	0	0	0
26	67	0	27	5	5	0	0	0	0	↓
27	22	31	21	22	1	1	0	0	0	↓
28	6	125	6	2	0	4	0	1	0	5
29	2	24	11	3	0	2	0	2	0	2
30	17	11	↓	4	4	8	↓	0	↓	0
7/ 1	2	1	7	1	0	1	0	0	7	0
2	1	437	5	231	0	9	1	5	1	0
3	141	1585	149	57	27	5	9	2	12	0
4	19	10	66	33	2	1	2	2	6	0
5	58	9720	13	1064	3	329	0	99	34	2
6	2	872	10	16	1	121	1	2	9	12
7	90	401	38	41	10	24	1	0	12	10
8	95	169	8	21	7	8	1	0	36	213
9	18	59	7	13	2	2	0	0	522	4
10	53	29	10	1	0	1	2	0	6	127
11	12	43	7	0	3	1	0	0	109	115
12	15	27	1	0	0	1	0	0	133	81
13	台風	9	↓	0	台風	0	↓	0	台風	64
14	台風	1	3	0	台風	0	0	0	台風	65
15	4	33	1	0	1	5	3	0	1	28
16	31	8	4	0	5	1	5	0	↓	3
17	19	7	1	0	3	1	1	0	2	6
18	20	3	0	2	0	0	0	1	1	1
19	9	4	1	30	1	0	0	3	1	0
20	69	1	9	17	0	1	0	0	0	0

海外飛来性害虫の有効積算温度による発育経過予測図（鹿児島地方気象台：鹿児島のデータを使用）

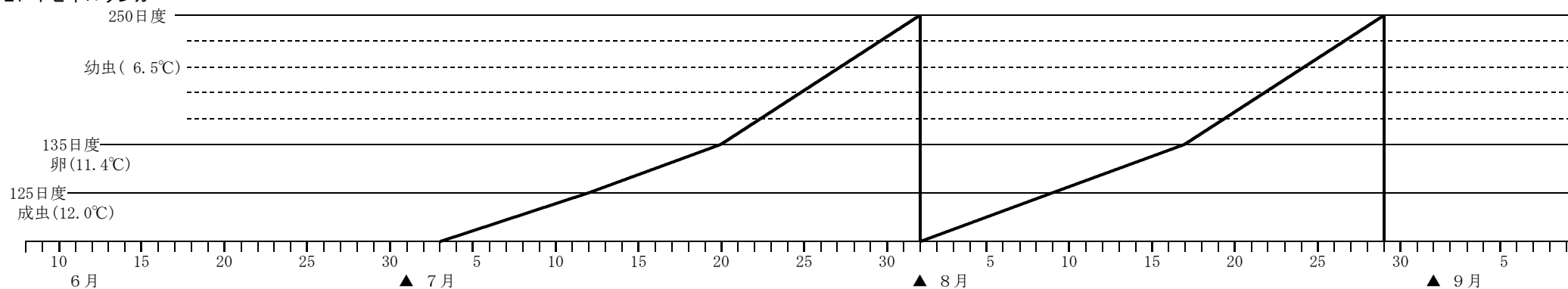
2007年 7月30日 作成

鹿児島県病害虫防除所

1. コブノメイガ



2. トビイロウンカ



(注) 気温の低い地域では予測より2～3日程度遅くなる。